

C

A

N

y

O

U

しごとのせんたく

P

I

C

K

O

U

T

?

スーパーの

佐和 みずえ／作
〇仮名だも／絵
静山社 613サ

「オカンは倒れた！ いったってパワー全開のオカさんが！」

高校を中退してからその日まで大沢まことは好きにやっていた。バイク仲間とたむろして、働きもせずにかつらと。将来のことを考えないわけではなかったけれど、それは棚上げしていた。シングルマザーのオカんに重症の不整脈がみつかり、まことは働かざるをえなくなっていた。けれど中卒ではどこも雇ってくれない。バイク仲間の直斗から、父親の経営しているスーパーの惣菜部の働き口を紹介してもらったことでまことはスーパーで働くことになった。

しかしスーパーマルクマは、野菜はいっぱい入れたかわからないほどしなびれてるし、魚も売れ残る、それに従業員の活気もない。きわめつけは近くにできたショッピングモールのあおりをうけて経営は赤字つづき、火の車だった。東都興産という不動産屋にも目をつけられていて、閉店も目の前。

スーパーがつぶれると、まことはまた無職になってしまう！ それになんといつてもこのまま何もせず引き下がるのはむかつく！ まことは立て直しをめざして試行錯誤しはじめるが……

女の子はどう生きるか

教えて、上野先生！
上野 千鶴子／著
岩波書店 360J

「女の子の翼を折らないように」

「青少年」といえば、ただちに男児や男性を思い描いてしまう社会がいまの社会だと上野先生はいいます。そんな社会で女の子たちは「これからどう生きるか」がQ&A形式で書かれています。

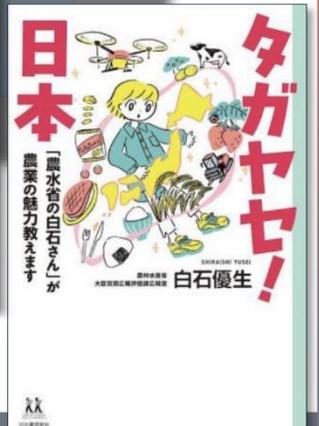
第一章では学校における性差でのヘンな役割の分けられ方について、「子ども」の世界はオトナの社会の縮図」と何度も繰り返し書かれています。「習慣」や「伝統」「社会通念」という言葉で覆われたヘンな決まりはオトナたちに作られているのかも……。

そして仕事を選ぶにあたって知っておきたいことは第四章「社会を変えるには？」に詳しく書かれます。女性が働きやすい企業を探すことに有用なサイト「女性活躍推進法」見える「化サイト」などの紹介もあります。

まちがってても、自分の翼を折らないように、そして折られないようにこの本を役立てて下さい。



女性活躍推進法
見える「化」サイト



白石 優生／著
河出書房新社 610シ



しごとのせんたく

仕事はどう選ぶのでしょうか。考え始めるというんなことに気づきます。自分の環境だったり、あこがれや、ゆずれないことだったりも関わりますね。そういつたすべてのことがへわたしならば、へわたしと社会・世界は重なるって、つながっていませんか？「社会・世界」から一方的に決められたことはかりではなくありたい。へわたしからも社会・世界を決められるはず。その一歩目はどうみえますか、そしてどう歩んでいけるのでしょうか。

去年は令和の米騒動と大騒ぎになり、お米の買い占めや品薄状態が続き、スーパーの店頭からお米が消えるといった現象がおきました。現在でも新米の価格高騰が問題となっています。

米農家さんに注目が集まり、メディアに露出する機会が増えたので、あらためて農業について興味をもつようになった人も多いのではないのでしょうか？農業は自然相手のアナログなものとイメージありませんか？そのイメージは古いのかも？

この本は農林水産省の広報室につとめている著者が、日本の農業の特徴と魅力、機械化が進む変わりゆく農業、今回の米騒動にもかわつてくる食料自給率やフードロスなど農業の課題について解説しています。最後に農業や食を支える農林水産省の仕事についても触れられています。豆知識や詳しい農家さん五選などのコラムもあり、ひとつの項目がコンパクトにまとめられているので、読みやすくなっています。

AN EN BOOK

オリジナル × × アダプテーション 映画

旅と日々

2025年製作 89分
監督・脚本：三宅唱

出演

李：シム・ウンギョン
渚：河合優実
夏生：高田万作
べん造：堤真一



○あらすじ

ある脚本家（李）がひとり、部屋の机の前で書きはじめる。韓国語で「シーン1 夏、海辺。」そして映像は夏の海辺へ。そこでは夏生と渚のふたりが出会い、そして…映像をみた李は自分には才能がないという。その後、李はあるきっかけによって、旅にでることに。雪が降り積もる旅先で李は泊まれる宿まで歩きつづけ、そこで会った宿の主人・べん造とおかしなことをしてかすことになるが…

○原作とくらべて

- 映画は2つの短編漫画を元に作られました。それら2つの短編は話の上での直接的なつながりはありません。1編はほぼそのままに映像化がされています。けれど脚色がないわけではなく、実際の人間が演じているということが強調されているようにも見られます。もう1編は数多く脚色されている部分があります。

ではどうしてそのような変更・脚色が必要だったのでしょうか？それに、脚色のされ方に濃淡があるのはなぜでしょうか？

- 光の扱われ方に注目。原作の短編でも太陽や田舎裏の火によって照らされる場面が印象的ですが、それ自体が光の照射である「映画」は、よりいっそう光の濃淡を観客に印象付けます。前半のシーンで、夕日が沈んでいき、夜の暗闇がにじんでくる場面は必見です。

原作：つげ義春

『海辺の叙景』（『つげ義春コレクション 李さん一家/海辺の叙景』収録）
（『つげ義春全集 4 李さん一家/海辺の叙景他全18篇』収録）

『ほんやら洞のべんさん』（『つげ義春コレクション 紅い花/やなぎ屋主人』収録）
（『つげ義春全集 5 紅い花/やなぎ屋主人他全12篇』収録）

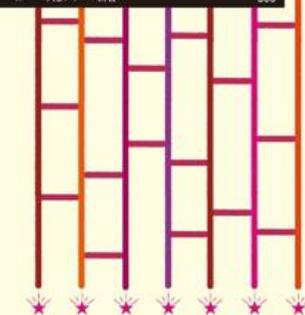


選ばない仕事選び

浅生 鴨

★—ちよびりー新書

506



選ばない
仕事選び

浅生 鴨/著
筑摩書房 360ア